

平成30年度（2018年度）

エコアクション21

# 環境活動レポート

対象期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日



®環境省  
エコアクション21  
認証番号0007179

 城陽ダイキン空調株式会社

発行日：令和元年（2019年）5月31日

## 1. ごあいさつ

当社は、ダイキン工業株式会社の代理店として、空調を核とし、その関連設備機器の販売、設計・施工、メンテナンスまで一貫した体制で事業を運営しております。

昭和41年創業以来、「誠実・技術・堅実」を経営理念に、お客様第一の姿勢に徹し、多くのお客様に信頼を得て、設備の専属パートナーとしてお客様の将来の利益を踏まえた提案を行い、問題解決のお手伝いをしております。

近年は、機能面はもちろん、コスト面、環境面、安全面に配慮した製品のニーズが高まってきております。メーカーと一体となり、設計・施工、メンテナンスの全般にわたって、総合的な設備診断を行って、お客様にご満足いただける最適なシステムをご提案申しあげております。

是非、ご愛顧賜りますよう、お願い申し上げます。

## 2. 社是・社訓

### 社 是

誠	実	と	信	用
熱	意	と	創	意
研	鑽	と	協	力

### 社 訓

売	ろ	う	信	用	と	技	術	
見	せ	よ	う	誠	意	と	実	力
得	よ	う	信	頼	と	繁	栄	

### 3. 環境方針

## 城陽ダイキン空調株式会社

# 環 境 方 針

#### <基本理念>

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化への対応や、有限である資源の有効利用が、地球上に生きる私たち人類共通の重要課題と考えています。

私たちは、空調その他関連設備機器事業を通じて、環境負荷の低減と、環境に配慮した製品の販売並びに施工・サービスを目指し、三じつ主義（誠実・技術・堅実）に則り、全社一丸となって自主的・積極的に環境への取組を進めてまいります。

#### <行動指針>

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。
  - ① 資源及びエネルギーの消費を適正化し、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
    1. 電力使用量の削減
    2. 資源（ガソリン）使用量の削減
    3. コピー用紙の再生紙化と電子媒体活用によるペーパーレス化推進
  - ② 廃棄物の削減及び再資源化の推進に努めます。
    1. 一般及び産業廃棄物の分別の徹底
    2. 3R（リデュース・リユース・リサイクル）率の向上
  - ③ 水資源使用量の適正化に努めます。
  - ④ 事務用品のグリーン購入を拡大します。
  - ⑤ 環境に配慮した製品の販売、施工、サービスの推進を図ります。
  - ⑥ 事業所周辺の清掃活動を積極的に行い、地域の環境改善に貢献します。
2. 本方針や環境関連法規制を全従業員に周知徹底を図り、遵守します。
3. 環境教育、地域活動などを実施し、全従業員の環境方針への理解と環境意識の向上に努めます。

制定日：平成24年6月1日

城陽ダイキン空調株式会社

代表取締役社長 澄川 秀 幸

## 4. 取組の対象組織・活動

### □組織の概要

(1) 名称及び代表者名

城陽ダイキン空調株式会社  
代表取締役社長 澄川 秀幸

(2) 所在地

本 社(分室を含む) 大阪府大阪市東成区玉津1丁目10番30号  
南大阪営業所 大阪府堺市堺区中之町西2丁2番24号  
神戸営業所 兵庫県神戸市中央区加納町4-4-17  
ニッセイ三宮ビル13階

京都営業所 京都府京都市伏見区竹田真幡木町129  
奈良営業所 奈良県奈良市三条添川町9番13号

\*本社においては、本館と分室が存在するが、距離的に近くにあり、また、日常業務でも区別していないため、エコアクション21の活動においても本館と分室を一括して本社とする。

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

管理責任者 取締役  
石本 善之 TEL:06-6972-3801  
担当者 総務部 沢田 正樹 //  
松田 歩実 //

(4) 事業内容

冷暖房機器の卸売及び施工管理

(5) 事業の規模

資本金 80百万円  
売上高 11,014百万円

	本社	南大阪(営)	奈良(営)	京都(営)	神戸(営)	合計
従業員	60名	23名	8名	5名	4名	100名
延べ床面積	952㎡	509㎡	232㎡	264㎡	151㎡	2108㎡

(6) 事業年度

4月～3月

### □認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 城陽ダイキン空調株式会社

本社（分室を含む）

南大阪営業所

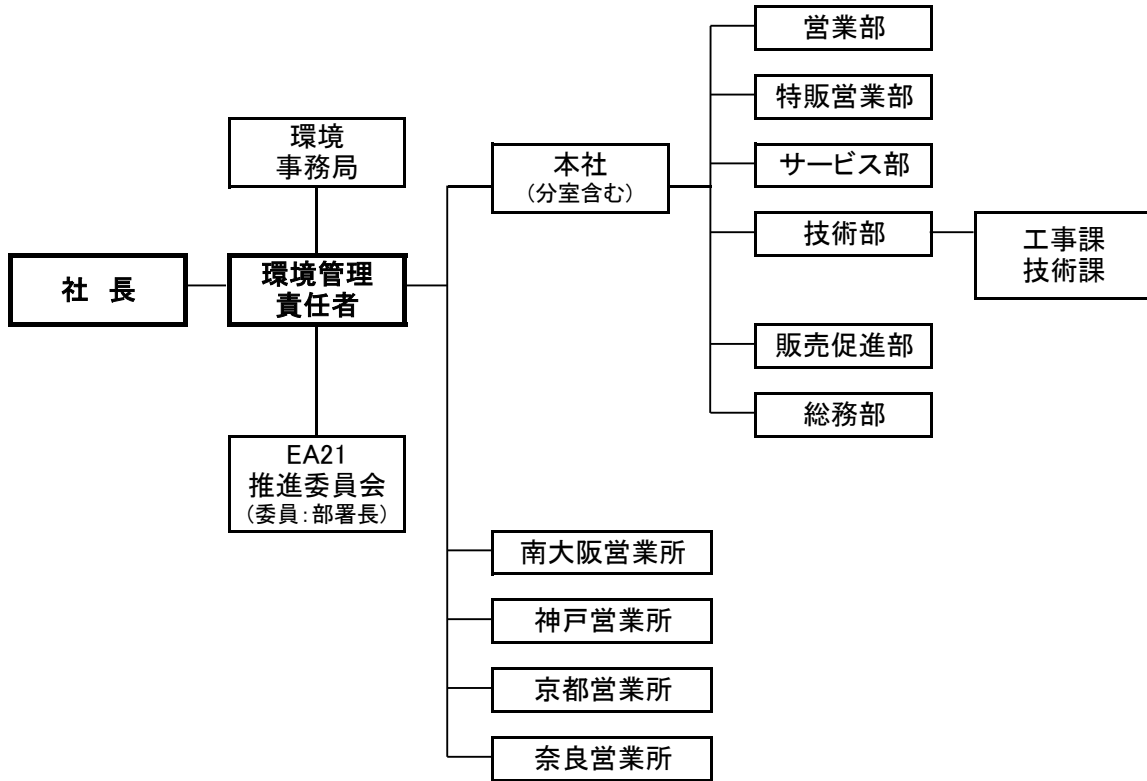
奈良営業所

京都営業所

神戸営業所

活動： 冷暖房機器の卸売及び施工管理

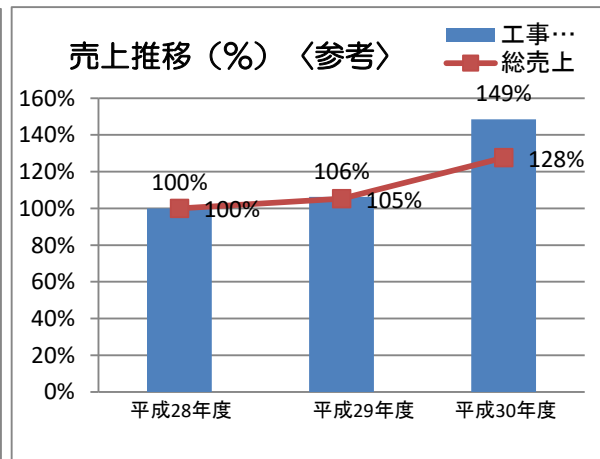
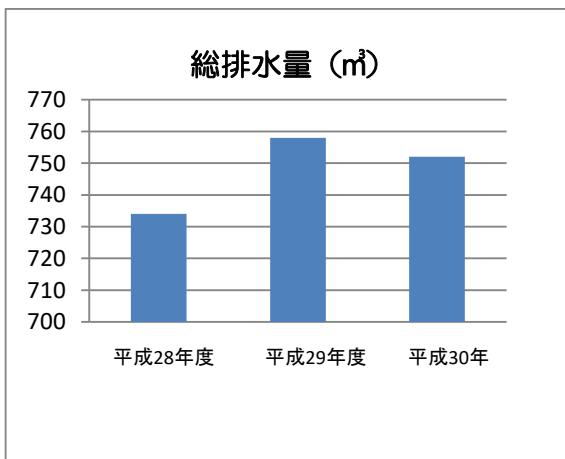
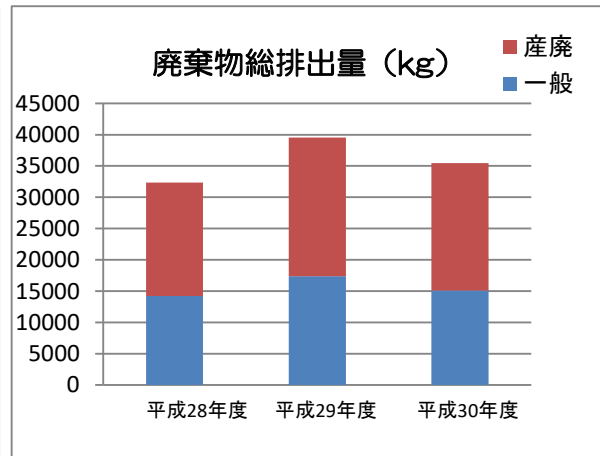
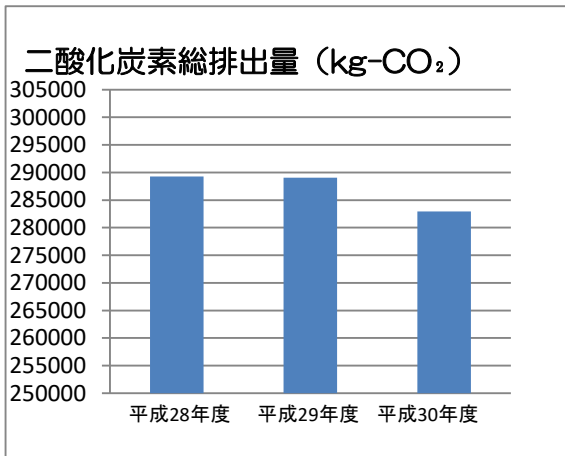
## 5. 組織の概要



	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境目標・環境活動計画書を承認、環境活動レポートの承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理、</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境目標・環境活動計画書を確認</li> <li>年間活動計画/実績記録表を承認、各手順書の内容の承認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境活動レポートの確認</li> <li>各部門の問題点の発見・是正・予防処置の実施の確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>環境目標・環境活動計画書原案の作成、環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）</li> </ul>
部署長 (EA21推進委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> <li>会社周辺地域の清掃活動への参加</li> </ul>

## 6. おもな環境負荷の実績

項目	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
二酸化炭素総排出量 電力の二酸化炭素排出係数 0.522kg-CO <sub>2</sub> /kWh	kg-CO <sub>2</sub>	289,293	289,063	282,941
廃棄物総排出量	kg	32,335	39,547	35,440
(一般廃棄物排出量)	kg	14,235	17,397	15,090
(産業廃棄物排出量)	kg	18,100	22,150	20,350
総排水量	m <sup>3</sup>	734	758	752



## 7. 環境目標とその実績

### □ 全社合計

項目		年度		平成30年		結果	平成31年	令和2年
		基準年度	実績	目標	実績		目標	目標
二酸化炭素排出量削減	電力の削減 (事務所) (*1)	基準年比	(基準年度H25年)	96%	91%	達成	96%	96%
		(kg-CO <sub>2</sub> )	111,357	106,903	101,618		106,903	106,903
	ガスの削減 (事務所)	基準年比	-	86%	68%	達成	86%	85%
		(kg-CO <sub>2</sub> )	307	264	209		264	261
	自動車燃料の削減 (事務所)	基準年比	(基準年度H26年)	96%	96%	未達成	96%	95%
		(kg-CO <sub>2</sub> )	188,368	180,833	181,114		180,833	178,950
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減 (事務所)	基準年比	(基準年度H23年)	92%	86%	達成	92%	91%
		(kg)	17,610	16,201	15,090		16,201	16,025
	産業廃棄物の削減 (建設現場) (*2)	基準年比	(基準年度H26年)	98%	131%	未達成	98%	98%
		(kg)	15,529	15,218	20,350		15,218	15,218
排水量削減	水道水の削減 (事務所)	基準年比	-	95%	93%	達成	95%	94%
		(m)	807	767	752		767	759
環境配慮資材購入	事務用品のグリーン購入		グリーン比率	55%	34%	未達成	55%	55%
		(円)	事務用品購入	-	1,721,022		-	-
		グリーン購入	-	584,813	-		-	
製品への環境配慮推進	エコ製品の販売促進		SA比率(*3)	10%	6%	未達成	各年度初めに目標値を設定	
		(台)	SA(業務用空調機)	-	11681			
		(台)	FiveStarZEAS	-	643			
化学物質削減	フロンの適正な回収と破壊 (建設現場)		破壊量/回収量	100%	100%	達成	100%	100%
		(kg)	回収量	-	7,622		-	-
		破壊量	-	7622	-		-	

(\*1) 電力の削減………二酸化炭素排出係数：0.522 (kg-CO<sub>2</sub>/kWh、関西電力、2013年実排出係数)

(\*2) 産業廃棄物の削減………施工管理や保守点検の現場で発生した廃棄物である。

(\*3) SA (スカイアアー) 比率……業務用空調機全体の中で、特に省エネ効率が高いダイキン製空調製品 (FiveStarZEAS) の占める割合



天井埋込カセット形室内機  
『S-ラウンドフロー』



室外機

店舗、オフィス用エアコン「FIVE STAR ZEAS」

日本社

項目		年度		結果	平成31年 目標	令和2年 目標		
		平成23年 基準年度	平成30年 目標 実績					
二酸化炭素排出量削減	電力の削減 (事務所) (*1)	基準年比	(基準年度H25年)	96%	85%	達成	96%	96%
		(kg-CO <sub>2</sub> )	70,008	67,208	59,382		67,208	67,208
	ガスの削減 (事務所)	基準年比	-	94%	69%	達成	94%	93%
		(kg-CO <sub>2</sub> )	200	188	137		188	186
	自動車燃料の削減 (事務所)	基準年比	(基準年度H26年)	96%	101%	未達成	96%	95%
		(kg-CO <sub>2</sub> )	89,066	85,503	89,595		85,503	84,613
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減 (事務所)	基準年比	-	92%	62%	達成	92%	91%
		(kg)	13,856	12,748	8,586		12,748	12,609
	産業廃棄物の削減 (建設現場) (*2)	基準年比	(基準年度H26年)	97%	118%	未達成	97%	97%
		(kg)	11,198	10,862	13,250		10,862	10,862
排水量削減	水道水の削減 (事務所)	基準年比	-	95%	81%	達成	95%	94%
		(m <sup>3</sup> )	595	565	483		565	559
環境配慮資材購入	事務用品のグリーン購入		グリーン比率	55%	19%	未達成	55%	55%
		(円)	事務用品購入	-	1,096,709		-	-
			グリーン購入	-	213,613		-	-
製品への環境配慮推進	エコ製品の販売促進		SA比率(*3)	10%	4%	未達成	各年度初めに目標値を設定	
		(台)	SA(業務用空調機)	-	5,963			
		(台)	FiveStarZEAS	-	254			
化学物質削減	フロンの適正な回収と破壊 (建設現場)		破壊量/回収量	100%	100%	達成	100%	100%
		(kg)	回収量	-	7,622		-	-
			破壊量	-	7,622		-	-

(\*1) 電力の削減………二酸化炭素排出係数：0.522 (kg-CO<sub>2</sub>/kWh、関西電力、2013年実排出係数)

(\*2) 産業廃棄物の削減………施工管理や保守点検の現場で発生した廃棄物である。

(\*3) SA (スカイエアー) 比率………業務用空調機全体の中で、特に省エネ効率が高いダイキン製空調製品 (FiveStarZEAS) の占める割合



□ 南大阪営業所

項目		年度		平成30年		結果	平成31年	令和2年
		平成23年	基準年度	目標	実績		目標	目標
二酸化炭素排出量削減	電力の削減 (事務所) (*1)	基準年比	(基準年度H25年)	97%	104%	未達成	97%	97%
		(kg-CO <sub>2</sub> )	21,174	20,539	21,953		20,539	20,539
	ガスの削減 (事務所)	基準年比	-	97%	100%	未達成	97%	96%
		(kg-CO <sub>2</sub> )	64	62	64		62	61
	自動車燃料の削減 (事務所)	基準年比	(基準年度H26年)	97%	102%	未達成	97%	96%
		(kg-CO <sub>2</sub> )	54,733	53,091	55,594		53,091	52,544
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減 (事務所)	基準年比	-	95%	113%	未達成	95%	94%
		(kg)	1,668	1,585	1,887		1,585	1,568
	産業廃棄物の削減 (建設現場) (*2)	基準年比	(基準年度H26年)	97%	146%	未達成	97%	96%
		(kg)	2,370	2,299	3,470		2,299	2,275
排水量削減	水道水の削減 (事務所)	基準年比	-	97%	153%	未達成	97%	97%
		(m <sup>3</sup> )	114	111	174		111	111
環境配慮資材購入	事務用品のグリーン購入		グリーン比率	55%	44%	未達成	55%	56%
		(円)	事務用品購入	-	338,029		-	-
			グリーン購入	-	147,931		-	-
製品への環境配慮推進	エコ製品の販売促進		SA比率(*3)	10%	6%	未達成	各年度初めに目標値を設定	
		(台)	SA(業務用空調機)	-	2,888			
		(台)	FiveStarZEAS	-	173			

(\*1) 電力の削減………二酸化炭素排出係数：0.522 (kg-CO<sub>2</sub>/kWh、関西電力、2013年実排出係数)

(\*2) 産業廃棄物の削減………施工管理や保守点検の現場で発生した廃棄物である。

(\*3) SA (スカイエアー) 比率……業務用空調機全体の中で、特に省エネ効率が高いダイキン製空調製品 (FiveStarZEAS) の占める割合

□ 奈良営業所

項目		年度		結果	平成31年 目標	令和2年 目標		
		平成23年 基準年度	平成30年 目標 実績					
二酸化炭素排出量削減	電力の削減 (事務所) (*1)	基準年比	(基準年度H25年)	97%	94%	達成	97%	96%
		(kg-CO <sub>2</sub> )	9,615	9,327	9,080		9,327	9,230
	ガスの削減 (事務所)	基準年比	-	97%	16%	-	H30年移転 移転先ではガス不使用	
		(kg-CO <sub>2</sub> )	19	18	3			
	自動車燃料の削減 (事務所)	基準年比	(基準年度H26年)	98%	85%	達成	98%	97%
		(kg-CO <sub>2</sub> )	20,927	20,508	17,684		20,508	20,299
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減 (事務所)	基準年比	-	95%	1220%	未達成	95%	95%
		(Kg)	301	286	3,673		286	286
	産業廃棄物の削減 (建設現場) (*2)	基準年比	(基準年度H26年)	97%	-	未達成	97%	97%
		(Kg)	0	0	1,200		0	0
排水量削減	水道水の削減 (事務所)	基準年比	-	97%	75%	達成	97%	96%
		(m <sup>3</sup> )	76	74	57		74	73
環境配慮資材購入	事務用品の グリーン購入		グリーン比率	55%	71%	達成	55%	55%
		(円)	事務用品購入	-	137,915		-	-
			グリーン購入	-	98,175		-	-
製品への環境配慮推進	エコ製品の 販売促進		SA比率(*3)	10%	7%	未達成	各年度初めに 目標値を設定	
		(台)	SA(業務用空調機)	-	1487			
		(台)	FiveStarZEAS	-	99			

(\*1)電力の削減………二酸化炭素排出係数：0.522 (kg-CO<sub>2</sub>/kWh、関西電力、2013年実排出係数)

(\*2)産業廃棄物の削減………施工管理や保守点検の現場で発生した廃棄物である。

(\*3)SA(スカイアア)比率……業務用空調機全体の中で、特に省エネ効率が高いダイキン製空調製品(FiveStarZEAS)の占める割合

□ 京都営業所

年度 項目			平成23年	平成30年		結果	平成31年	令和2年
			基準年度	目標	実績		目標	目標
二酸化炭素排出量削減	電力の削減 (事務所) (*1)	基準年比	(基準年度H25年)	97%	114%	未達成	97%	96%
		(kg-CO <sub>2</sub> )	6,322	6,132	7,204		6,132	6,069
	自動車燃料の削減 (事務所)	基準年比	(基準年度H26年)	97%	106%	未達成	97%	96%
		(kg-CO <sub>2</sub> )	10,413	10,101	11,042		10,101	9,996
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減 (事務所)	基準年比	-	95%	82%	達成	95%	95%
		(kg)	1,152	1,094	944		1,094	1,094
	産業廃棄物の削減 (建設現場) (*2)	基準年比	(基準年度H26年)	97%	124%	未達成	97%	97%
		(kg)	1,961	1,902	2,430		1,902	1,902
排水量削減	水道水の削減 (事務所)	基準年比	-	97%	93%	未達成	97%	96%
			41	40	38		40	39
環境配慮資材購入	事務用品のグリーン購入		グリーン比率	55%	81%	達成	55%	56%
		(円)	事務用品購入	-	88,037		-	-
			グリーン購入	-	71,570		-	-
製品への環境配慮推進	エコ製品の販売促進		SA比率(*3)	10%	9%	未達成	各年度初めに目標値を設定	
		(台)	SA(業務用空調機)	-	756			
		(台)	FiveStarZEAS	-	67			

(\*1) 電力の削減………二酸化炭素排出係数：0.522 (kg-CO<sub>2</sub>/kWh、関西電力、2013年実排出係数)

(\*2) 産業廃棄物の削減………施工管理や保守点検の現場で発生した廃棄物である。

(\*3) SA (スカイエアー) 比率………業務用空調機全体の中で、特に省エネ効率が高いダイキン製空調製品 (FiveStarZEAS) の占める割合

□ 神戸営業所

項目		年度		平成23年		平成30年		結果	平成31年	令和2年
		基準年度		目標	実績	目標	目標			
二酸化炭素排出量削減	電力の削減 (事務所) (*1)	基準年比	(基準年度H25年)	97%	97%	達成	97%	97%		
		(kg-CO <sub>2</sub> )		4,238	4,111		3,999	4,111	4,111	
	自動車燃料の削減 (事務所)	基準年比	(基準年度H26年)	97%	56%	達成	97%	96%		
		(kg-CO <sub>2</sub> )		13,229	12,832		7,198	12,832	12,700	
環境配慮資材購入	事務用品のグリーン購入		グリーン比率	55%	89%	達成	55%	56%		
		(円)	事務用品購入	-	60,332		-	-		
			グリーン購入	-	53,524		-	-		
製品への環境配慮推進	エコ製品の販売促進		SA比率(*3)	10%	9%	未達成	各年度初めに目標値を設定			
		(台)	SA(業務用空調機)	-	587					
		(台)	FiveStarZEAS	-	50					

(\*1) 電力の削減………二酸化炭素排出係数：0.522 (kg-CO<sub>2</sub>/kWh、関西電力、2013年実排出係数)

(\*2) 産業廃棄物の削減………施工管理や保守点検の現場で発生した廃棄物である。

(\* ) 水道水の削減………テナントに入っており、当社での使用実績が把握できないために、取組項目にはあげていないが、節水活動は実施している。

(\*3) SA (スカイエアー) 比率………業務用空調機全体の中で、特に省エネ効率が高いダイキン製空調製品 (FiveStarZEAS) の占める割合

## 8. 環境活動計画と結果及びその評価、次年度の取組内容

### □ 全社合計

◎よく出来た ○概ね出来た △あまり出来なかった ×全く出来なかった

環境活動計画		総合評価	継続/変更	評価、次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減	電力の削減 (事務所)	・数値目標	◎	■上方修正 □下方修正 □基準見直し
		・パソコン、コピー機などの省電力設定化	◎	継続
		・定期的なITツールのフィルタ-清掃、交換	○	継続
		・空調の適温化を徹底(冷房28℃暖房20℃程度)	◎	継続
		・業務の効率化を図り、残業時間を減らす	△	継続
	ガスの削減 (事務所)	・数値目標	○	■上方修正 □下方修正 □基準見直し
		・冬季以外の給湯停止	◎	継続
		・意識して使用軽減に取り組む	○	継続
		・啓発ラベルやステッカーを掲示する	△	継続
	自動車燃料の削減 (事務所)	・数値目標	×	□上方修正 ■下方修正 □基準見直し
		・エコドライブ等の運転方法を励行	◎	継続
		・タイヤの空気圧を定期的に確認し、適正値の維持	○	継続
		・社用車の効率的な使用を徹底する	○	継続
		・不要な荷物を積んだまま運転しない	○	継続
	廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減 (事務所)	・数値目標	○
・会議資料などの書類簡素化、A <sup>4</sup> -B <sup>5</sup> -化			○	継続
・両面や2枚焼きによる印刷、コピーの徹底			◎	継続
・使用済み用紙などの裏紙利用			◎	継続
・マイ箸、マイカップ、マイ水筒、マイバッグを使用する			△	継続
・分別回収ボックスにより、ごみの分別を徹底			◎	継続
産業廃棄物の削減 (建設現場)		・数値目標	×	□上方修正 ■下方修正 □基準見直し
		・機器等の故障時は修理等により長期使用を図る	△	継続
		・クレームの発生撲滅に努める	△	継続
		・分別廃棄を徹底し、できるだけリサイクルに努める	○	継続
排水量削減	水道水の削減 (事務所)	・数値目標	○	■上方修正 □下方修正 □基準見直し
		・手洗い、洗い物時における節水の励行	◎	継続
		・啓発ラベルやステッカーを掲示する	○	継続
環境配慮資材購入	事務用品のグリーン購入	・数値目標	×	□上方修正 ■下方修正 □基準見直し
		・再使用、リサイクルしやすい製品を優先的に購入	○	継続
		・B <sup>1</sup> -用紙、印刷物等について再生紙を購入する	◎	継続
		・環境ラベル認定製品の購入	△	継続
		・購入計画を徹底し、余剰品の削減に努める	○	継続
製品への環境配慮推進	エコ製品の販売促進	・数値目標	△	□上方修正 □下方修正 ■基準見直し
		・業務用エアコンについては、スカイエア全体に対するFivestarZEASの構成比を10%以上に高める	△	継続
化学物質削減	フロン <sup>1</sup> の適正な回収と破壊 (建設現場)	・数値目標	◎	□上方修正 □下方修正 □基準見直し
		・法令を遵守し、回収したフロンについては適正な破壊処理を行う	◎	継続
		・毎年、定期的に報告書を作成し、近畿の各府県に提出する	◎	継続

\* 上方修正：数値目標レベルを上げる、下方修正：数値目標レベルを下げる、基準見直し：基準年度を変える等

## 9. おもな環境関連法規について

適用されるおもな法規制とその遵守状況（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

	法規制等の名称	要求事項	遵守状況
1	廃棄物処理法	マニフェスト管理、マニフェスト交付等状況報告、契約書保管	○
2	フロン排出抑制法	フロン類の適切な回収と破壊処理、簡易・定期点検の実施	○
3	PRTR法	前年度の第1種指定化学物質排出量等の届出	○
4	毒劇法	取扱責任者の選任、盗難・紛失の防止など	○
5	騒音規制法	地域別騒音基準の遵守	○
6	NOx・PM法	大阪府条例（自動車流入規制）	○
7	消防法	防火管理者選任、消防計画書の届出	○
8	高圧ガス保安法	ボンベ類の転倒防止、40℃以下、警戒標など	○
9	家電リサイクル法	該当する家庭用ITの適正処理	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。なお、関係当局よりの違反等の指摘及び訴訟等は、過去3年間ありませんでした。また、外部コミュニケーションとして上記期間に、環境に関する苦情はありません。

## 10. 代表者による全体評価の見直しの結果

- ・二酸化炭素の排出について、電気とガスでは目標を達成できたが、ガソリンについては、目標未達に終わった。社用車の増車等もあったが、目的場所によっては電車での移動を促し、社用車についても、より効率的な使用方法を徹底していきたい。

- ・エコ製品の販売促進についても目標未達となったが、省エネ性の高いFiveStarZEASのメリットや優れた機能について、今後もユーザー様に広くPRしていく。

- ・建屋の改修をはじめ、働き方改革の一環で、環境改善に向けた設備投資も活発になりつつある。

空調設備への要望も多様に変化する中、それぞれのユーザー様のニーズを的確にキャッチし、社会の変化に対応していきたい。

- ・以前より全社で展開しているLCC（ライフサイクルコスト\*）について、これまでの結果と課題を見直しするとともに、今後の成功につなげていきたい。

\* LCC（ライフサイクルコスト）とは

「生涯コストとも呼ばれ、イニシャルコストのみならず、ランニングコスト、維持管理、修繕コスト、廃棄時コストなどを含めた総合コスト」のこと

## 11. 環境活動

1) 環境活動の一環として、全社で社屋近隣の清掃ボランティアを行っています。

- 開始：平成22年(2010年)12月22日から
- 範囲：社屋近隣周辺
- 頻度：毎週1回始業前の朝8:20~8:35
- 担当：全部門全従業員

2) 大阪マラソン“クリーンアップ作戦”に今年も参加しました。

- 開催日時：平成30年11月20日(火) 8:00~8:40
- 掃除範囲：玉造駅~本社までの道、公園など
- 参加人数：44名



(ゴミ拾いの様子)



(集合写真)

- 大阪市の地域貢献として、今年も44名の社員が参加してごみ拾いを行いました。
- 玉造駅~会社周辺までを5班に分かれて、ゴミ拾いを行いました。  
集まったゴミの量は「約15kg」で、落ち葉以外にもタバコの吸い殻や、空き缶、お菓子の空袋などが目立ちました。
- 毎年恒例となったボランティアですが、継続して開催することで、また社員のエコに対する意識が高まりました。今後も引き続き、地域の環境改善に貢献していきます。

### 3) 節電への取組

- 本館で先に導入していた「iタッチマネージャー」を分室にも導入しました。

冬は事務所内が冷えているので、社員が出勤する朝の8時前より緩く暖房を入れ、寒さ対策と節電を同時に行っています。



- 分室1階倉庫の入口にビニールカーテンを設置しました。

こちらにも寒さ対策の一つとして事務所下の倉庫に冷気が入ってこないようカーテンを取り付けました。底冷えを少しでも緩和し、エアコンの温度設定を適温にしました。



### 4) その他の取組

- 本館入口、廊下などの照明をLEDへ更新

本館入口と廊下のライトをLEDへ更新しました。1階の廊下は人感センサー付きのライトによって、さらに節電を図っています。



- 書庫の転倒防止対策に突っ張り棒を導入しました。

平成30年6月に発生した大阪北部地震により、京都営業所では、書庫が転倒するなどの被害がありました。今後の災害に備え、全サイトで書庫やロッカーの転倒防止対策を行いました。



以上